

群馬県が進めるキャリア教育

○発達に応じた指導（小学校）

小学校では、各教科や特別活動、道徳の時間、総合的な学習の時間など、それぞれの教育活動の特徴を生かし、発達段階に応じた左のような系統的・計画的な指導を行っています。これらの指導により、身のまわりの仕事や環境への関心・意欲を高め、将来に対する夢や希望を育てています。

小学校での指導例

低学年

自分の好きなこと、得意なことやできることを増やし、様々な活動に意欲と自信をもって取り組めるように指導する

中学年

友達のおさを認め、協力して活動する中で、自分の持ち味や役割が自覚できるように指導する

高学年

苦手なことや初めてのことに失敗を恐れずに取り組み、集団の中で「自分にはできる」「自分は役に立っている」など自分の存在を価値あるものと受け止められる感覚や感情をもてるよう指導する

○主体的な進路選択に向けた指導（中学校）

中学校では、肯定的自己理解と自己有用感を育てるとともに、自分の生き方について実社会の現実と関わらせて考え、主体的な進路選択ができるよ

う、平成17年度以来、キャリア教育推進の核として職場体験活動を推進してきました。

現在、本県では、ほとんどの中学校で職場体験が実施されており、その内の約4割が5日間の職場体験を行っています。高等学校への進学率が約98%となっている現状を踏まえ、直接的に将来の職業の見習いのな職場体験を行うのではなく、興味・関心等に基づく勤労観・職業観を形成することを目的として、職場体験の質的な向上を図ることが重要であると考えています。

○「未来を拓く特別授業」の実施

平成23年度から平成25年度まで、子どもたちの将来に向けての夢や希望を育むため、小・中学校に様々な分野で活躍している人材を講師として派遣し、講話や交流、体験的な活動などの特別授業を実施してきました。

【平成25年度実践報告より】

○伊勢崎市立赤堀南小学校

講師 生形雄一さん（宮大工）

・総合的な学習の時間

・宮大工さんから学ぼう

～「千年の釘にいどむ」～

実際に使っている道具や修復した寺社の建築部材の实物を並べ、それらを使って目の前で実演することで、児童は本物に触れることができ、驚きと感動を味わえました。三百年前に建てられた釣り鐘堂を修理する際、「三百年

後の職人に見せても恥じない仕事をした」と語った

生形さんの言葉は、国語の題材に紹介された内容と通じるものがあり、生き方を学ぶキャリア教育の視点からもよい学習になりました。

○藤岡市立小野中学校

講師 森川澄男さん

（日本ピア・サポート協会会長）

・特別活動

・球技大会を成功させる絆づくり

森川先生のピア・サポートに関する講話では、人が人を支援することや笑顔で話すことの大切さを学ぶことができました。球技大会を楽しく行うための話し合いでは、下級生は先輩のすごさに直に触れ、「ミスしてもせめない」「励ましてあげる」「言葉かけを多くする」など、多くの具体的な行動を

まとめていました。生徒は、実際にピア・カウンセラーとして活動することを



通して、キャリア教育で育てる力であるコミュニケーションスキルを向上させ、自分の存在を価値あるものとして受け止めることができていたようです。

○キャリア教育推進事業の実施

本年度から、県内の4中学校区をキャリア教育推進地域に指定し、義務教育9年間を見通したキャリア教育の組織及び計画の作成を進め、家庭、地域が一体となったキャリア教育のモデルをつくり、県内に普及していく予定です。

また、県キャリア教育推進協議会を年2回開き、指定地域における取組について、協議及び情報交換を行うことで、各地域における実践を充実させたいと考えています。

【指定4中学校区（全10校）】

- 渋川市 渋川中学校
- 渋川市 渋川南小学校
- 富岡市 豊秋小学校
- 富岡市 北中学校
- みなかみ町 小野小学校
- みなかみ町 新治中学校
- 明和町 新治小学校
- 明和町 明和中学校
- 明和町 明和東小学校
- 明和町 明和西小学校